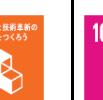
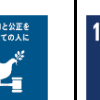
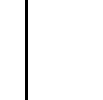


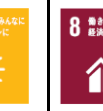
※記載例を参照の上、ご記入ください。

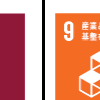
(様式第3号)

企業・団体名 ((株)ホクエツ信越 長野営業所)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			年2回の研修を通じコミュニケーションの重要性を社内に浸透させ、雇用条件での差別を防ぎ働きやすい環境作りを目指しております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・就業規則に記載し、また研修を実施することにより、お互いが相手の立場に立った考え方を心掛け、相手を慮る社風を構築しております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			残業を少なくするための生産性、効率化を全社で共有することにより、長時間労働削減に取り組んでおります。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		外国人労働者は今のところ受け入れをしておりません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			工場での労災を防ぐために、安全委員会を開催し事故防止を第一に考え、取り組んでおります。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスを重要と捉え、相談しやすい労働環境を目指しており、体調面、心身面を考慮し有給を活用しながら良好維持に取り組んでおります。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			営業、工場勤務希望の女性の採用を増やし将来の重要な人材になるよう成長を促し、取り組んでおります。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・営業・工場とも定期的な研修を行う事により、若手、中堅の教育訓練の機会を提供し能力開発に努めております。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		【予定】	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働、同一賃金の原則に沿った体制の整備、対応を行う予定です。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			協会けんぽに加入し、年1回の健康診断を行い、健康アドバイザーの定期的な指導による健康増進に取り組んでおります。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類、分別を適正に行い、量の削減に努めております。											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			硫黄分が0. 5%以下のローサルファー重油を使用することにより、ボイラーからの硫黄酸化物の排出量を削減し、環境負荷の低減を図っています。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			自社の温室効果ガスの排出量削減の為、早強セメント使用による蒸気養生の短縮により、温室効果ガスの排出削減に取り組んでおります。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			各工場で研修を行い、有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでおります。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			生態系に配慮した河川護岸製品を自社開発し、普及させることにより生物が住みやすい環境に配慮しております。						6.6									15		
16	【3 Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			製品製造過程による不良品を外部に依頼し、リサイクル骨材として再利用しております。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			水資源の利用状況を今後把握し、利用効率の改善に努めていきます。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ			エコアクション21取得を目指していきます。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			ローサルファー重油使用をHPで開示し、普及に努めております。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			工場跡地の有効活用による太陽光発電システム導入を行い、再生可能エネルギーの普及に努めてます。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			碎石、砕砂使用削減を目指し、スラグ活用を行い置換率7パーセントの取り組みを行っております。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則により、汚職・贈収賄を禁止し、社員のモラル向上に取り組んでおります。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為を含む行動規範の整備と社内堅守を実施しております。																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			特許申請を行い、商標等知的財産権の取得、管理をしております。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			研修を行い、個人情報保護に取り組むと共に、顧客情報の流出防止に努めております。																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ																			16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認活動を行っております。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定。			3					8	9	10							17

チェック項目		取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			施工要領書を作成し、工事現場の安全性を高めるために、施工業者と打合せを行っております。			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			顧客要望を把握し、製品の改良を継続的にを行い、品質改善に努めております。社内でのクレーム発生を報告することにより、共有し、類似クレームの発生防止に繋げております。								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			製品設計時にライフサイクルを考え、高耐久コンクリートを開発し製品普及に取り組んでいます。						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			災害復旧、災害防止、雨水排水、河川強化、インフラ整備など社会課題に対応する製品の開発に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			騒音測定を行い地域社会との良好な関係を継続しております。				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			小学生の社会見学会を定期的の実施や地域の行事に対する寄付を行って社会貢献に取り組んでいます。				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			千曲川の砕砂を製品材料として利用することにより、地域資源の利用に取り組んでいます。								8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営者が理念を持ち、毎年経営理念及び経営目標を社内で共有しております。									8	9							17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			コンプライアンス重視を掲げ、法令順守の考えが社内に浸透し、遵守する体制、仕組みを構築しております。																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応すべく、体制構築を図っていきます。																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			社会の課題を把握し、製品開発を行う事により社会貢献、顧客満足に繋げていく取り組みをしています。																16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			営業、工場のリスクを把握し、将来に対するリスク管理に取り組んでいます。																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			地域社会の発展を願い、製品開発、製造普及により栽培防止、復旧、インフラ整備の一端を担うべく営業活動に取り組んでいます。																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			万一に備え連絡網の整備、ミラーサーバーの設置に取り組んでいます。									9		11		13 13.1			16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がいる									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定